



CEシリーズ
ハイビジョン対応13.3インチワイドSDプレーヤー
CE-133WA

取扱説明書



もくじ

はじめに	1
注意	2・3
外形図	4
本体スイッチ・接続コネクタ	5
ワイヤレスリモコン	6
SETUP(PICTURE)	7・8
SETUP(SOUND)	9・10
SETUP(TIME)	11
SETUP(OPTION)	12
外部機器との接続	13・14
トラブルシューティング	15
スペック	16
USBコピー	17
不可視ファイルの削除	18・19・20

はじめに

本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用になる前に、取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

梱包箱から取り出したら、次の同梱品がそろっているか確認してください。

同梱品を確認する

- ・本体×1台
- ・ACアダプター
- ・リモコン(試用電池付き)×1個
- ・取扱説明書×1冊
- ・AVケーブル(ミニピン)×1本
- ・音声ケーブル(ミニピン)×1本



下記の注意事項を守らないと 火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店または弊社にご依頼ください。

内部に水や異物（金属物や燃えやすい物など）を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店または弊社にご相談ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・製品と壁や棚の間にはさみ込んだりしない。
- ・電源コードを加工したり、傷つけない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・熱器具に近づけない。加熱しない。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店または弊社に交換を依頼してください。

機器本体や付属品は、幼児の手の届かない場所におく

内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。また、本体小物部品、液晶の保護シート、SDカードなどのメモリーカードを飲み込む恐れがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触れぬよう、ご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

付属のACアダプター以外は使用しない

故障・火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所では使わない

火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足にひっかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。

通電中の本機やACアダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

移動させるとき、長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

本機やACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

分解しないでください

機構部品により、けがの原因となることがあります。また、高温になった部品にさわるとやけどの原因となることがあります。ケースが破損しても本体内部の部品には触れないでください。高電圧部品により感電する事があります。

本体の上に乗らない、重いものを載せない

落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面に強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

コネクターはきちんと接続する

- ・コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- ・コネクターはまっすぐ差し込んで接続してください。斜めに差し込みとピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。



下記の注意事項を守らないと 火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない

本機や電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

デバイスの取り付け、または取りはずすときは本体を持つ

メモリーカード、コネクタなどを本機に取り付けたり、取りはずすときは、本体に手を添えて行ってください。

本機が落ちると、けがの原因となることがあります。

お手入れの仕方

薄い中性洗剤を含ませた柔らかい布を使用してください。乾いた布を使用すると、画面が傷つくことがあります。

濃いアルコール、シンナー、ベンジンなどは塗装や画面の損傷を招くため使用しないでください。

制限事項

本製品はコンピューターには接続することはできません。

本製品がサポートする再生可能なファイル形式について、すべての環境での動作を保証するものではありません。

本製品を使用することにより生じた直接、間接の被害、データの消失等について弊社では一切その責任を負いません。

本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器など人命に関わる設備や高度な信頼性を必要とする設備、またこれらの用途での使用は意図しておりません。このような環境下での使用に際しては一切責任を負いません。

その他のお知らせ

本書の内容に関しては、予告なしに変更する場合があります。

本書に内容に関しては、万全を期して作成しておりますが、万が一ご不明な点や、誤りなどお気づきになりましたら弊社までご連絡いただけますようお願いいたします。

本製品は改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

本製品は日本国内での使用のみ保証が適用されます。

本書および本製品に使用されている、社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

再生ファイルについて

本製品がサポートする再生可能なファイル形式について、全ての環境で動作を保証するものではありません。ビットレートの高い動画ファイルの再生につきましてはメディアからの転送速度に依存します。

動画ファイルのビットレートに対し、低速なメディアを利用された場合、コマ落ちや音声の途切れなどが発生する場合があります。

ただし、メディアのメーカーやモデルにより、必ずしもこの通り動作しない場合もあります。

リモコンの注意

リモコンは、液体のかかる場所や熱、衝撃、振動のあたる場所から避けてお使いください。

リモコンの伝達距離が短くなったと感じたら電池を交換してください。

電池が弱くなったときや、長時間使用しないときは、電池を取り外してください。

放置したままにしておきますと液漏れの原因となります。

電池を正しく装着しないと故障の原因となります。

再生ファイル形式

MPEG1、MPEG2、MP4が再生可能です。(音声はMPEG Audio Layer1・mp3・AAC-LCに対応)

JPEG、mp3(音楽ファイルはスライドショー再生時のみ再生が可能です)

メモリーカードの容量は2GB～16GB(HC)まで

SDカード再生時のメモリーカード容量は2GB～16GBまで。

ただしメディアメーカーおよびメディアによっては再生できない場合があります。

ファイル名

ファイル名は半角英数で90文字、全角の漢字・ひらがな・カタカナでは45文字までです。半角カナは使用できません。

認証機能付きUSBメモリ

指紋認証機能付きUSBメモリ、パスワード認証機能付きUSBメモリは使用できません。

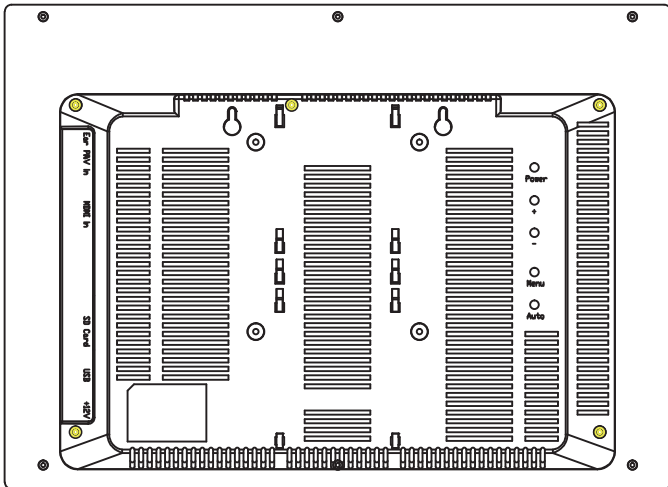
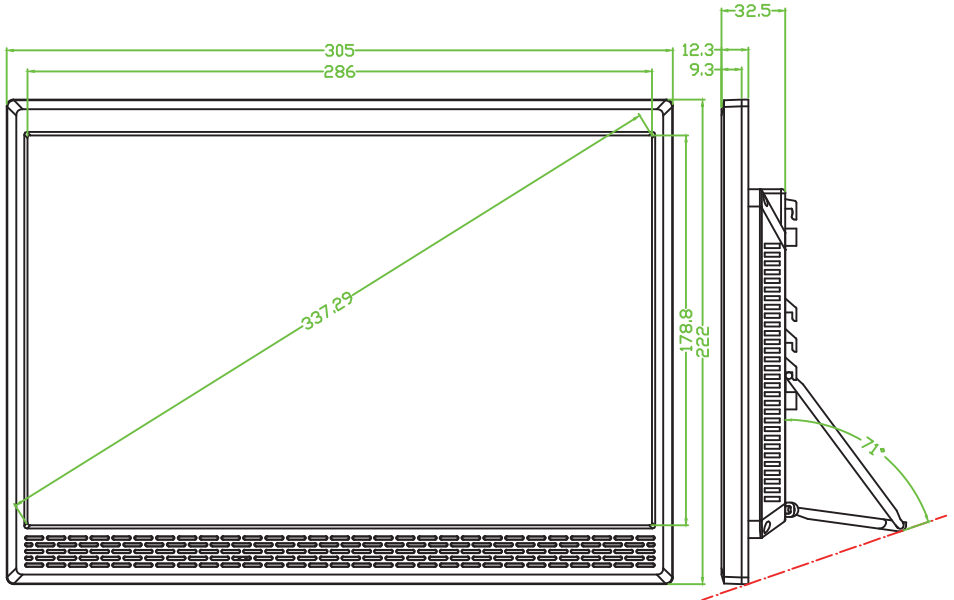
パソコンのウィルス

ウィルスに感染してしまったパソコンからコンテンツファイルをSDカード・USBメモリにコピーするとウィルスに感染してしまいます。ウィルスに感染したSDカード、USBメモリを使用すると本体の故障の原因になることがあります。

ご使用のパソコンは必ず、ウィルス対策ソフトで、感染しないようにしてください。

外形图

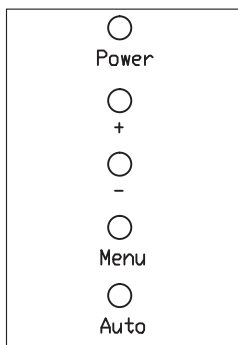
CE-133WA



本体スイッチ

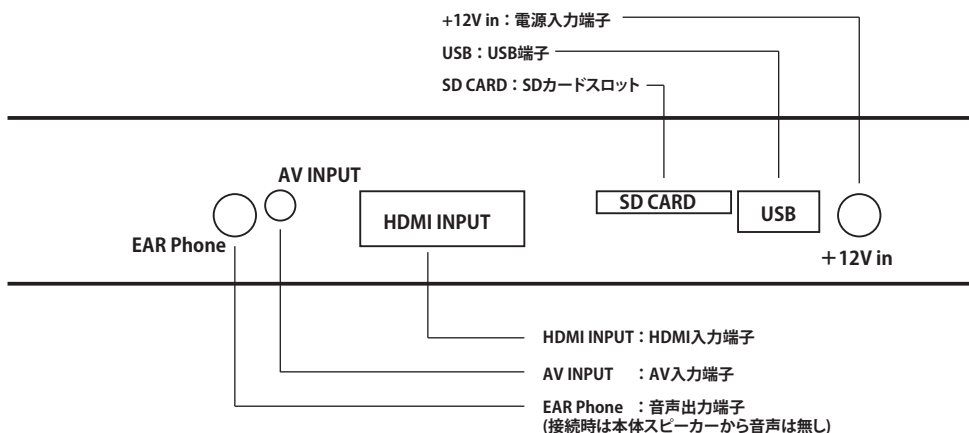
本体スイッチ

CE-133WA (裏面)




1. 入力モード
(1) メディアプレーヤー(SDカードまたはUSBメモリー)
(2) HDMI入力
(3) AV入力
2. 本体スイッチ
POWER : 電源On/Off
+ : 音量アップ
 セットアップの大項目の移動、設定値の変更
- : 音量ダウン
 セットアップの大項目の移動、設定値の変更
MENU : セットアップメニューの表示
AUTO : 入力モード切替(SDプレーヤー/HDMI入力/AV入力)
 (ラストメモリー機能にて電源を切っても保持されます)
 カーソルを下に移動(セットアップメニュー)
 ※セットアップの大項目(PICTURE、SOUND、TIME、OPTION)

接続コネクタ




ワイヤレスリモコン

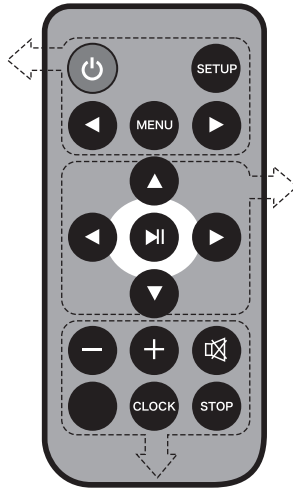
 電源ON/OFF(スタンバイ)


 入力モードの切替


 未使用


 セットアップメニューの表示
セットアップメニューを閉じる


 未使用




 カーソルを上に移動

 セットアップ項目の移動
サブメニューの表示
設定値の増加、変更


 カーソルを下に移動
ファンクションメニューを閉じる


 セットアップ項目の移動
サブメニューの表示
設定値の減少、変更


 決定
再生・一時停止
ファンクションメニューの表示

 音量を下げます

 音量を上げます

 MUTE
音声を一時中断します。もう一度押すと解除されます。

 現在時刻を右上に表示

 現在選択しているモードを停止します。
セットアップ、ファンクションから抜けます。

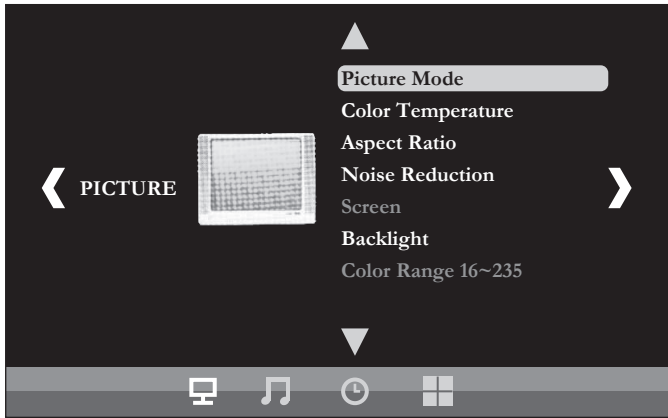
 リピートモード切替
(Auto Play TypeがMOVIEの時に
Repeat All/Repeat One切替が可能です)

SETUP

リモコンの **MENU** キーまたは本体のMENUボタンを押すとセットアップメニューが表示されます。多彩な動作を設定できます。この項では、業務用モニター用途として必要な部分について抽出して説明してあります。詳細を記載していない部分においてご質問等ありましたら、弊社までお問合せください。リモコンの **◀▶** キーまたは本体の+、-ボタンを押すとPICTURE、SOUND、TIME、OPTIONに項目が移動します。

セットアップメニュー

PICTURE



Picture Mode User: Standard、Dyanamic、Mild の色合いがプリセットされています。User の項目では好みの色合いに調整することが出来ます。

Picture Mode	Standard
Contrast	50
Brightness	50
Color	50
Sharpness	50
Tint	50
↵ MENU	

Standard 設定

Picture Mode	Dynamic
Contrast	60
Brightness	50
Color	60
Sharpness	60
Tint	50
↵ MENU	

Dynamic 設定

Picture Mode	Mild
Contrast	45
Brightness	48
Color	45
Sharpness	50
Tint	50
↵ MENU	

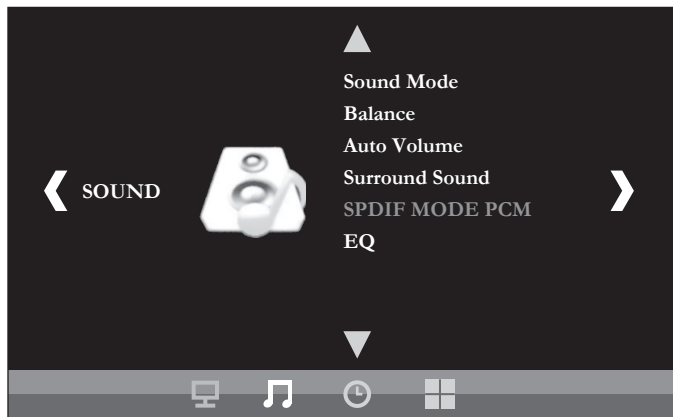
Mild 設定

※ **▲▼** キーを使ってカーソルを各設定に合わせ、**◀▶** キーを押すとサブメニューが表示します。**◀▶** キーを押して項目を選択します。

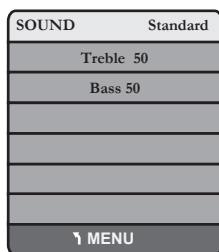
User の項目では Contrast、Brightness、Color、Sharpness が調整できます。

SETUP

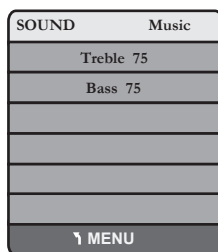
SOUND



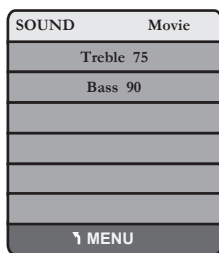
Sound Mode: Standard、Music、Movie、Sport に音色がプリセットされています。
User の項目では好みの音色に調整することが出来ます。



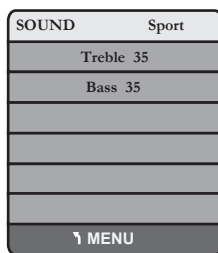
Standard 設定



Music 設定



Movie 設定



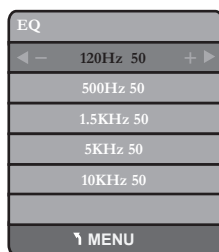
Sport 設定

※ ▲ ▼ キーを使ってカーソルを各設定に合わせ、◀ ▶ キーを押すとサブメニューが表示します。◀ ▶ キーを押して項目を選択します。

SETUP

SOUND

- Balance:** 左右のバランスを調整できます。
-50(左) ~ 0(中央) ~ +50(右)
- Auto Volume:** 自動音量調整の ON/OFF
- Surround Sound:** サラウンドを OFF、Surround、SRS TurSurround XT から選択できます。
- EQ:** イコライザーの設定を選択できます。
120Hz、1.5KHz、5KHz、10KHz の各周波数帯の設定を 0 ~ 100 の範囲で強弱することができます(標準値は 50)。



- ※ ▲ ▼ キーを使ってカーソルを各設定に合わせ、◀ ▶ キーを押すとサブメニューが表示します。◀ ▶ キーを押して項目を選択します。

SETUP

TIME



CLOCK: 現在年月日・時刻の設定を行います。

Off Time: タイマー動作時に自動電源オフさせる時刻の設定を行います。
(SD, USB 使用時) ※HDMI, AV 入力モードでは作動しません。

On Time: タイマー動作時に自動電源オンさせる時刻の設定を行います。
(SD, USB 使用時) ※HDMI, AV 入力モードでは作動しません。

Sleep Time: スリープタイマーの設定を行います。
設定した時間に達するとシャットダウンします。

Sleep Timer
Off
10min
20min
30min
60min
90min
↵ MENU

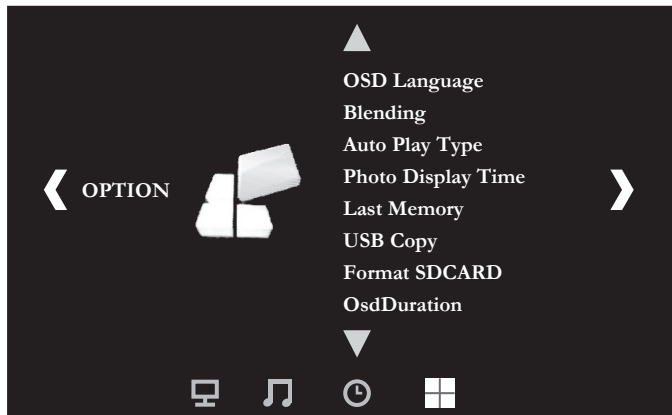
Sleep Timer
120min
180min
240min
↵ MENU

Auto Sleep: オートスリープの設定 On、Off

※ ▲ ▼ キーを使ってカーソルを各設定に合わせ、◀ ▶ キーを押すとサブメニューが表示します。◀ ▶ キーを押して項目を選択します。

SETUP

OPTION



- OSD Language:** OSD 表示言語の設定を行います。
(カーソルを移動させると言語が変わるので注意してください)
- Blending:** 画面の明るさが変化します。
(明るい) Off、Low、Middle、High (暗い)
- Auto Play Type:** 自動再生モードの選択をします。
(SD、USB 挿入時)
All Media : 全ての種類のコンテンツを自動再生
(ただし音楽は再生しません)
MOVIE : 動画ファイルのみを自動再生
PHOTO : 静止画ファイルのみを自動再生
- Photo Display Time :** スライドショーの切り替わり時間
(SD、USB 挿入時)
設定した時間に達すると次の写真に切り替わります。
(5Sec、10Sec、15Sec、20Sec、25Sec、30Sec、35Sec)
- Last Memory:** 機能しません。
- USB Copy:** 機能しません。
- Format SDCARD:** SD カード内のコンテンツを削除します (データが消去されます)
- OsdDuration :** OSD 表示時間の設定
設定した時間に達すると OSD 表示が消えます。
(Off、5Sec、10Sec、15sec)

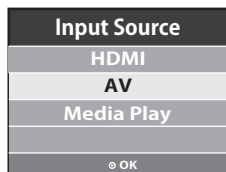
※ ▲ ▼ キーを使ってカーソルを各設定に合わせ、◀ ▶ キーを押すとサブメニューが表示します。⏪ ⏩ キーを押して項目を選択します。

外部機器との接続

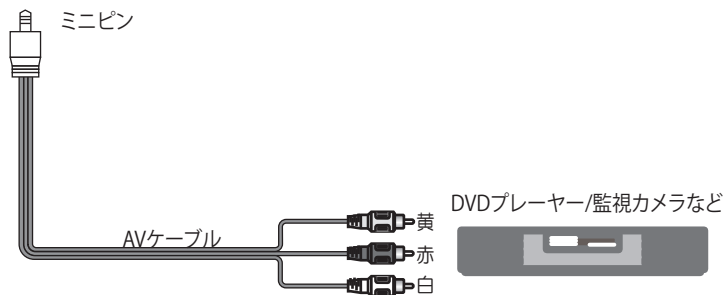
AV 入力モード

DVDプレーヤーや監視カメラなどのコンポジット出力用のAV入力モニターとしての使用方法

- ① 本体のAV入力端子に付属のミニピンAVケーブルを接続します。
(ピン配置は先頭から映像/音声(L)/音声(R)/GNDの順番になっています)
- ② リモコンの **SETUP** キーを押します。
- ③ 入力モードの切替ダイアログが表示されます。
- ④ **SETUP** キーを押す毎にカーソルが移動し入力モードが切り替わりますのでAVにします。
- ⑤ リモコンの **▶** キーで決定します。
- ⑥ DVDプレーヤーや監視カメラなどの映像が表示されます。音声入力があるときは音声が出力されます。






入力切替ダイアログ



外部機器との接続

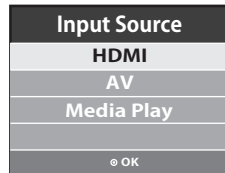
HDMI 入力モード

DVDプレーヤーやスマートフォンなどのHDMI入力モニターとしての使用方法

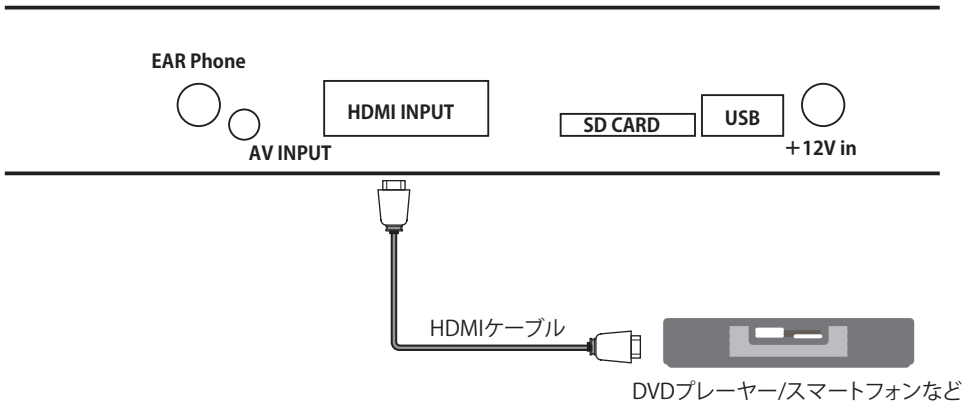
- ① 本体のHDMI入力端子にHDMIケーブルを接続します。
- ② リモコンの  キーを押します。
- ③ 入力モードの切替ダイアログが表示されます。
- ④  キーを押す毎にカーソルが移動し入力モードが切り替わりますのでHDMIにします。
- ⑤ リモコンの  キーで決定します。
- ⑥ DVDプレーヤーやスマートフォンなどの映像が表示され音声が出ます。

※対応している入力解像度は720P、1080I、1080Pです。

HDCP対応モニターでないため、HDCP認証が必要な機器(Bulrayなど)からの映像出力は映らない場合があります。



入力切替ダイアログ



トラブルシューティング



理由の如何を問わず、ご自身で修理しようとしていたりして、本体の蓋を開けたりすると、保証の対象外となりますのでお気をつけください。本体内部には、高電圧となっている部分があり、蓋をあけると、電気ショックを受けたりすることがあります。本体を修理に出す前に、まずは、次の点を確認してください。

下記の通りに行っても直らない場合は、お買い上げ頂いた販売店または弊社にお問合せください

問題	チェック項目	対処方法
映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ■電源は正しく接続されていますか？ ■ACアダプターのプラグが、きちんとコンセントに接続されていますか？ ■入力モードは合っていますか？ ■本体または映像出力機器にケーブルはきちんと接続されていますか？ ■ケーブルの不具合の場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ACアダプターのプラグをきちんと差し込んでください。 ■ACアダプターのコネクタをきちんと奥まで差し込んでください。 ■リモコンのSETUPキーを押して入力モードを使用するモードに合わせてください。 ■ケーブルの接続を確認してください。 ■ケーブルを交換してください。
音声が再生されない (音が出ない)	<ul style="list-style-type: none"> ■リモコンによるボリュームが“0”になっていませんか？ ■本体または映像出力機器にケーブルはきちんと接続されていますか？ ■映像出力機器の音量が“0”になっていませんか？ ■ケーブルの不具合の場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■リモコン音量キーでボリュームを調整してください。 ■本体のスピーカー故障の場合があります。 ■ケーブルの接続を確認してください。 ■映像出力機器の音量を確認してください。 ■ケーブルを交換してください。
リモコンが 正しく動作しません	<ul style="list-style-type: none"> ■電池がありますか？ ■電池が正しく装着されていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ■他の電池で確認してください。(CR2025) ■電池を取り外して、乾いた布などで良く拭いてから、再度電池を装着してください。 ■リモコンの赤外線照射部分を本体受光部に向けて操作してください。 ■本体の受光部側に問題がある場合があります。 ■リモコンが故障している場合があります。

スペック

型番	CE-133WA
仕様	
・LCD パネル	TFT(LED バックライト)
・画面サイズ(表示エリア)	13.3 インチ /16:10
・画素数	1280×800×3(RGB)
・輝度	250cd/㎡
・視野角(上/下/左/右)	60° /60° /75° /75°
・使用電源	DC12V
・消費電力	≤12W
・OSD 言語	日本語 / 英語
・スピーカー(フロント)	2W×2
・本体スイッチ	MENU(BRIGHTNESS/CONTRAST/COLOR)、 +(音量アップ)、-(音量ダウン)、ON/OFF(電源)
・入力端子	AV: NTSC,PAL
	HDMI: 720P、1080i、1080P
	SD カード: 動画や静止画の再生
	USB : 動画や静止画の再生
・出力端子	音声出力(ミニピンジャック)
・モニタースタンド	本体内蔵(折りたたみタイプ)
・取付穴位置	VESA 75×75mm 3mm 径
・動作温度	0℃~45℃
・重量	900g
・外形寸法(幅×高さ×奥行)※	315(W)×221(H)×34(D)mm
・AC アダプター	入力: AC100V-240V
	出力: DC12V/2A または 5A
<機能>	
オートパワーオン	○
ラストメモリー機能	○
電子ボリューム機能	○
インジケータ(LED表示)	○
<付属品>	
1. AC アダプター(PSE)	
2. リモコン(試用電池入)	
3. AV ケーブル(ミニピン)	
4. 音声ケーブル(ミニピン)	
5. 取扱説明書	

※突起物はありません

USBコピー

USBメモリからSDカードへコンテンツを上書きコピー

USBメモリを使ってSDカードへ新しいコンテンツを自動コピーする方法です。

- ①新しいコンテンツが入ったUSBメモリを用意します。
- ②本体の電源を切ります。(ACアダプターを取り外します)
- ③USBメモリを本体へ接続します。
- ④本体の電源を入れます。(ACアダプターを接続します)
- ⑤画面右上に「Auto Copy Countdown 5s!」と表示され、5秒後に自動コピーがスタートします。
- ⑥コピーが終了するとホーム画面が表示されたあと、新しいコンテンツが再生します。
- ⑦本体の電源を切ります (ACアダプターを取り外します)。USBメモリを本体から取り外します。
- ⑧本体の電源を入れます (ACアダプターを接続します)。新しいコンテンツが再生します。

【注意】

- USBメモリは必ずWindowsでフォーマットしてから新しいコンテンツをコピーしてください。
Macでコピーをすると再生できない不可視ファイルも一緒にコピーされてしまいます。
不可視ファイルがSDカード内に入っていると再生不良の原因となります。
- SDカード容量以上のコンテンツファイルはコピーできません。必ずコピーする前にSDカードの容量を確認して、容量内のファイルをコピーしてください。
- USBメモリにはコンテンツファイル形式のみをコピーしてください。
.mpg、.mp4、.jpgに限定してください。
(拡張子表示されている場合)
- フォルダに入ったコンテンツファイルはコピーできません。
USBメモリにフォルダを作成せずに新しいコンテンツファイルをコピーしてください。
- 下記のコンテンツファイルは再生不良の原因となりますのでUSBメモリにコピーしないでください。
 - ①Excel、Word、PPT、PDFなどのファイル
 - ②PC自動立ち上がりソフト
 - ③不可視ファイル

不可視ファイルの除去

Mac OS を使用して USB などにコピーすると不可視ファイルも一緒にコピーされます。Mac OS で必要なファイルの為、不可視ファイルを入れない状態でのコピーは出来ません。

本機では不可視ファイルが SD カード内に入っていると再生が停止するなどの不具合が発生します。下記の手順に従って不可視ファイルを SD カードから取り除いてください。

コピーしたストレージメディアから不可視ファイルを取り除く方法は Windows 機を使用するか、アプリケーションソフトを入れる必要が有ります。

1. アプリケーションソフトを使用する方法 (Mac OS 10.5 以降の OS)

- ① Eject for Windows を Mac にインストールしデスクトップまたは Dock に置きます。



- ② USB メモリのアイコンを Eject for Windows にドラッグ & ドロップします。



- ③ USB メモリ内の Windows では不要のファイルは削除された上で、USB メモリのアイコンはデスクトップからなくなります。
(USB メモリは物理的に取り外せる状態になっています)

- ④ USB メモリを Mac から取り外します。
取り外した USB メモリは Mac で確認しないで下さい。
除去した不可視ファイルが再び生成されてしまいます。

このアプリケーションの URL

<http://www011.upp.so-net.ne.jp/decafish/EjectForWindows/EjectForWindowsJ.html>

不可視ファイルの除去

2.Windows PC での除去

① Windows の設定を変更し隠しファイルが表示できる様になります。

[Windows7、Windows Vista]

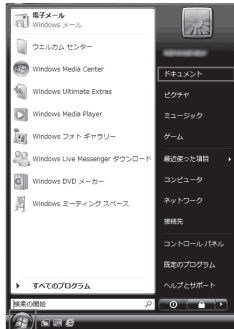
1. スタートボタンの  をクリックし右側に

表示される”ドキュメント”をクリックします。

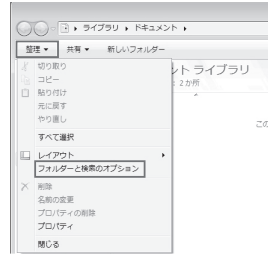
2.”整理”をクリックし”フォルダーと検索オプション”をクリックしてフォルダーオプションを画面表示します。



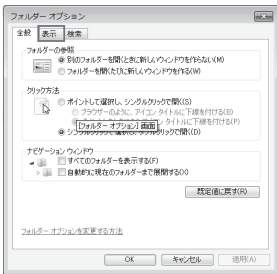
Windows7



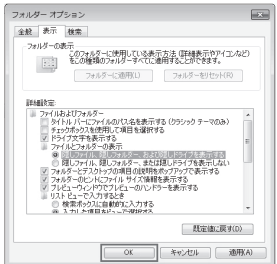
Windows Vista



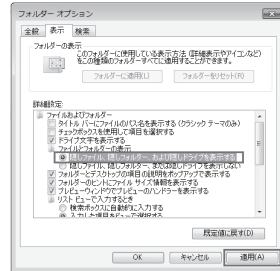
3.”フォルダーオプション”画面の”表示”タブをクリックします。



5.”OK” ボタンをクリックし”フォルダーオプション画面を終了します。



4.”詳細”設定ボックス内で”ファイルとフォルダーの表示”の下にある”隠しファイル、隠しフォルダー、およびドライブを表示する”をクリックし”適用”ボタンをクリックします。



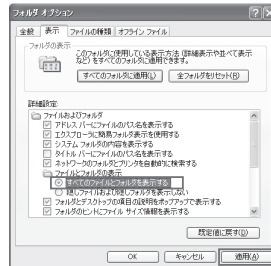
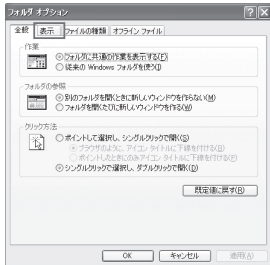
不可視ファイルの除去

【Windows XP】

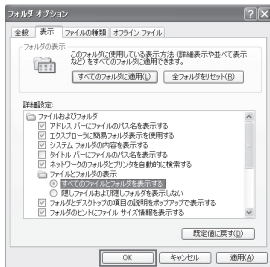
1. スタートボタンをクリックし右側に表示される “マイドキュメント” をクリックします。
2. ツール”メニューから”フォルダオプション” をクリックして”フォルダオプションを表示させます。



3. “フォルダオプション” 画面の “表示” タブをクリックします。
4. “詳細設定” ボックス一覧で “ファイルとフォルダの表示” の下にある “すべてのファイルとフォルダを表示する” ボタンをクリックします。



5. “OK” ボタンをクリックし”フォルダオプション” 画面を終了します。



- ② USB メモリや SD カードなどのストレージメモリを開き不可視ファイルを 削除します。
(下図の様に先頭が . で始まるファイルやフォルダ)



メモ

メモ